

「Unit5 Universal Design」 ～ブラタネモト「尾道紹介ビデオ」を作ろう～

本単元で育成する資質・能力

表現力・コミュニケーション能力・主体性・積極性

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、昨今日常生活に浸透しつつあるユニバーサルデザインについて扱っている。言語材料では接続詞（if, that, when, because）を扱っており、これらを用いて、ある条件で何をするかを述べたり、自分の意見とその理由を述べたり、どんなときに何をしたかを述べたりする場合の表現を習得させる言語活動を展開できる単元である。

尾道市は観光都市であり、多くの観光客が訪れている。海外からの観光客にお勧めの観光スポットを尋ねられることも予想される。この言語材料を用いることで、場面に応じた表現の幅を広げることができる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、「英語学習についての事前アンケート」で次のように答えている。

1	英語の勉強は好きです。	肯定的回答 88.8%
2	英語の授業を楽しみにしています。	肯定的回答 80.5%
3	ペアやグループなどでの活動を行うことが好きです。	肯定的回答 75.0%
4	ALT の話を聞いたり、ALT と話したりすることが好きです。	肯定的回答 75.0%
5	英語の授業では自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。	肯定的回答 80.5%
6	小学校での英語活動が役に立っていると感じますか。	肯定的回答 83.3%
7	英語は必要だと思いますか。	肯定的回答 91.6%

日頃の授業では、生徒は、音読練習において意欲的に声を出しており、また発問に対しても積極的に挙手をして発言するなど、前向きに学習に取り組んでいる。しかし、小学校からの外国語活動の成果が十分窺える生徒がいる反面、生徒間の学力差は大きく、音とつづりとの関係理解ができておらず、発音はできてもその単語や文章を書くことが難しい生徒もいる。

「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」や「つなぎ言葉を用いることなどいろいろな工夫をして話を続けること」については、多くの生徒において、It is interesting. などの短文で伝えることはできるが理由をとまなうなど、複数の文章で具体的に伝える事は難しい。

(3) 指導観

実践的な会話能力を育成する観点から、ペア活動やグループ活動を積極的に取り入れ、自分の思いを表現させる場を多くもつことに重点を置いている。本単元の指導に当たっても、ペア活動やグループ活動を十分生かし、相手や場に応じた表現方法を理解させ、様々な状況に応じて対応できる力をつけたい。

指導に当たっては、生徒が自分で調べた事柄を整理して、それをよく知らない聞き手に対してプレゼンテーションする活動を実施する（尾道紹介ビデオの作成）。個ではなく小グループで行い、相互に協力し合いながら、よりよいものにしていく過程を重視し、評価する。

2 学校が育成を目指す資質・能力

本校が各授業を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力，コミュニケーション能力」である。しかしながら，その前提として，各授業において授業のねらいを確実に達成させることが必要である。授業のねらいを「生徒の主体的な学び」を通してより確実に達成させるため，本校では「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し，小グループで考えを練り合わせ，思考したことをミニホワイトボードに表現した後，全体へ発表させるというスタイルをとっている。このスタイルを，全教科で一斉に行い徹底させることで，ねらいを達成させると同時に「表現力，コミュニケーション能力」が育成できると考えている。

本単元においても，「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し，学習班で考えを何度も練り直させ，思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

3 目 標

- 身近な話題について，考えとその理由を述べ合うことができる。
- 接続詞 if, that, when, because の形・意味・用法を理解し，表現できる。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
①身近な話題について自分の考えを積極的に伝えようとしている。	①身近な話題について自分の考えとその理由を伝えることができる。	①広告を読んだり，対話を聞いたりして，何が説明されているかを理解することができる。 ②スピーチを読んで，話者の主張とその理由を理解することができる。	①接続詞(if, that, when, because)の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。

5 指導計画（全 12 時間）

次	学習内容 (時数)	評 価					評価方法
		関	表	理	知	評価規準	
1	接続詞 if の用法理解（1）				○	・接続詞 if の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。（知①）	ワークシート
	本文理解（1）			○		・広告を読み，何が説明されているかを理解することができる。（理①）	活動の観察ノート
2	接続詞 that の用法理解（1）				○	・接続詞 that の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。（知①）	ワークシート
	本文理解（1）			○		・対話を聞き，何が説明されているかを理解することができる。（理①）	活動の観察ノート
3	接続詞 when の用法理解（1）				○	・接続詞 when の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。（知①）	ワークシート
	本文理解（1）			○		・話を聞き，何が説明されているかを理解することができる。（理①）	活動の観察ノート
4	接続詞 because の用法理解（1）				○	・接続詞 because の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。（知①）	ワークシート
	本文理解（1）			○		・話を聞き，何が説明されているかを理解することができる。（理②）	活動の観察ノート

5 (本時)	尾道紹介ビデオの作成(3) 【本時 2/3】	○	○		・身近な話題について自分の考えとその理由を伝えることができる。(表①) ・身近な話題について自分の考えを積極的に伝えようとしている。(関①) 【表現力・コミュニケーション能力・主体性・積極性】	【活動の観察】 【ワークシート】
6	必要な情報を聞き取る			○	・何が説明されているかを理解することができる。(理①)	活動の観察

6 本時の展開

(1) 本時の目標

- 尾道紹介ビデオの原稿づくりにおいて、接続詞を用いて、見た人が行きたいと思えるような紹介文をつくることができる。
- 尾道紹介ビデオに登場し、自分がスピーチをする場面において、相手意識・場意識のもとに聞き手に正しく感情を込めて伝えることができる。

(2) 評価規準

身近な話題について自分の考えとその理由を伝えることができる。(表①)

(3) 準備物

ダンボールのボード ワークシート TV コンピューター (6台)

(4) 学習の流れ(2時間目/全3時間)

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 あいさつ(1分) 2 課題設定とねらいの確認(2分) ・課題を設定する	◇テンポ良く進める	
学習課題： プラタネモト「尾道紹介ビデオ」を改善しよう		
(ねらい) ・接続詞(if, that, when, because)を使って、行きたいと思える尾道の紹介文をつくることができる ・聞き手に正しく伝えることができる		
3 改善のポイントの確認(3分) 4 ビデオの視聴(12分) ・前時に作成した映像を視聴する	◇改善のポイントを確認する 内容／発音／間の取り方／表情・表現	

5 紹介文の改善（15分） ・各グループにコンピューターを配布し、自分たちの映像を見て、模造紙に書いてある紹介原稿を改善していく。	◆改善のポイントを提示しておく ◇各グループをまわって改善点を確認し、指導する <改善例> Hello. We are going to tell about Senkoji temple. <u>Please visit Senkoji temple. The view is very beautiful from there.</u> ↓ Hello. We are going to tell about Senkoji temple. <u>Please visit Senkoji temple because the view is very beautiful from there.</u>	
6 改善した原稿をもとに「尾道紹介ビデオ」を作成する（14分）	*音声表現を重視で評価する ◇教室の中央に大型モニターを設置し、その両側で尾道紹介をグループ順に行う ◇その様子をビデオで撮影する	身近な話題について自分の考えとその理由を伝えることができる。〔表①〕 （観察）
7 まとめ（1分） ・原稿を改善する活動場面について3段階での評価と自分の成長した部分について記述をする	◇本時を振り返り、次時につなげる 改善のポイントを意識して取り組めた。 A B C <成長した部分> ・ジェスチャーを加えることができた ・笑顔でできた ・原稿を覚えてできた	
8 振り返り（2分） ・個人のワークシートに改善点を書き込む	◇前回作成した紹介ビデオから改善して良くなった点を確認する	

(5) 板書計画

Unit

理由をつけて意見を
伝えることができる

Today's Goal

- ・行きたいと思える
紹介文にする
- ・聞き手に正しく伝える
ことができる

If ～, ….

When ～, ….

…because ～.

I think that ～.

Task

ブラタネモト「尾道紹介ビデオ」を改善しよう

<改善のポイント>

- ・内容
- ・発音
- ・間の取り方
- ・表情, 表現

流れ

- 1 前回作ったブラタ
ネモトを見てみよう
- 2 改善と練習
- 3 発表しよう

